

## 3-4. 路線バス

### 3-4-1. 市内のバス路線

市内にはJR総社駅を起点とした路線が4系統（中鉄バス2系統、備北バス1系統、日の丸タクシー1系統）運行されています。鉄道駅間を結ぶ路線は、国道180号を運行する地頭～岡山線（備北バス）がありますが、JR清音駅やJR服部駅につながるバスは運行されていません。また、美袋駅発着の2系統が令和3年3月に廃止されています。

各バス路線の運行は、平日を中心とし1～5便/日であり、また土日祝運行の路線は2系統となるなど、利用が限られる運行状況となっています。

図 総社市内バス路線



出典：総社市 HP

表 総社市内バス路線一覧

区分	系統名	便数	事業者
路線バス	総社～新本線	平日 1.5便／日*	中鉄バス
	総社南高北・総社駅～妙仙寺・宮前線	平日 2.5便／日 土曜 3便／日 日祝 1便／日	
	地頭～岡山線	平日 3便／日 土日祝 4便／日	備北バス
	雪舟くん・倉敷中央病院往復便(予約型乗合方式)	平日 5便／日*	日の丸タクシー

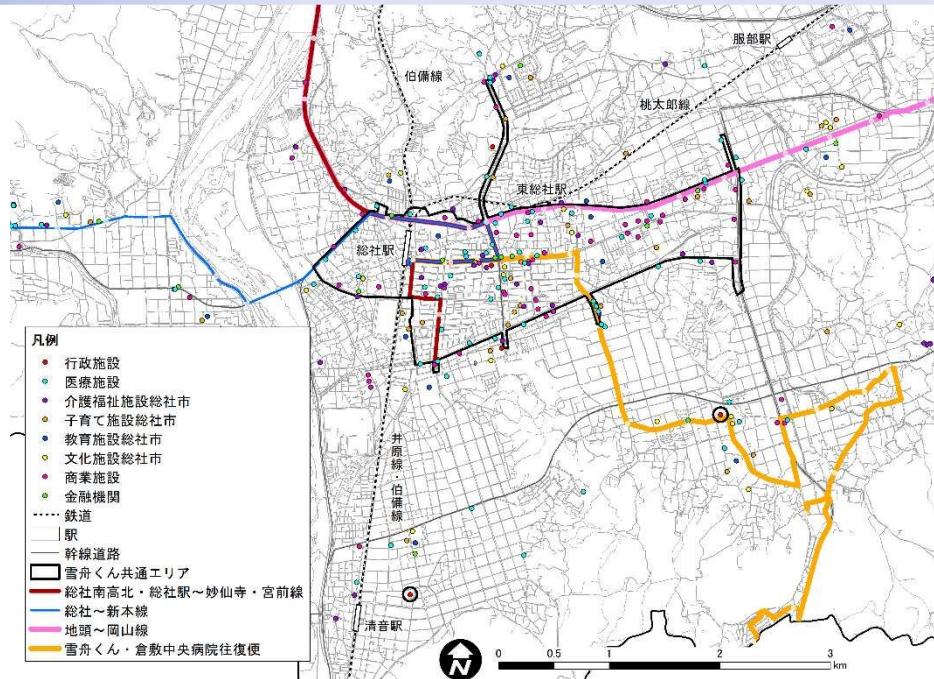
\*土日祝運休

出典：総社市 HP, バス事業者 HP (2025年10月閲覧)

### 3-4-2. 中心部におけるバス路線の状況

JR 総社駅、東総社駅を含む中心部には多くの都市施設が集中していますが、中心部におけるバス路線密度は低く、またバスの運行本数も非常に少ないとことから、中心部内における移動利便性が低い状況にあります。

図 中心部におけるバス路線の状況

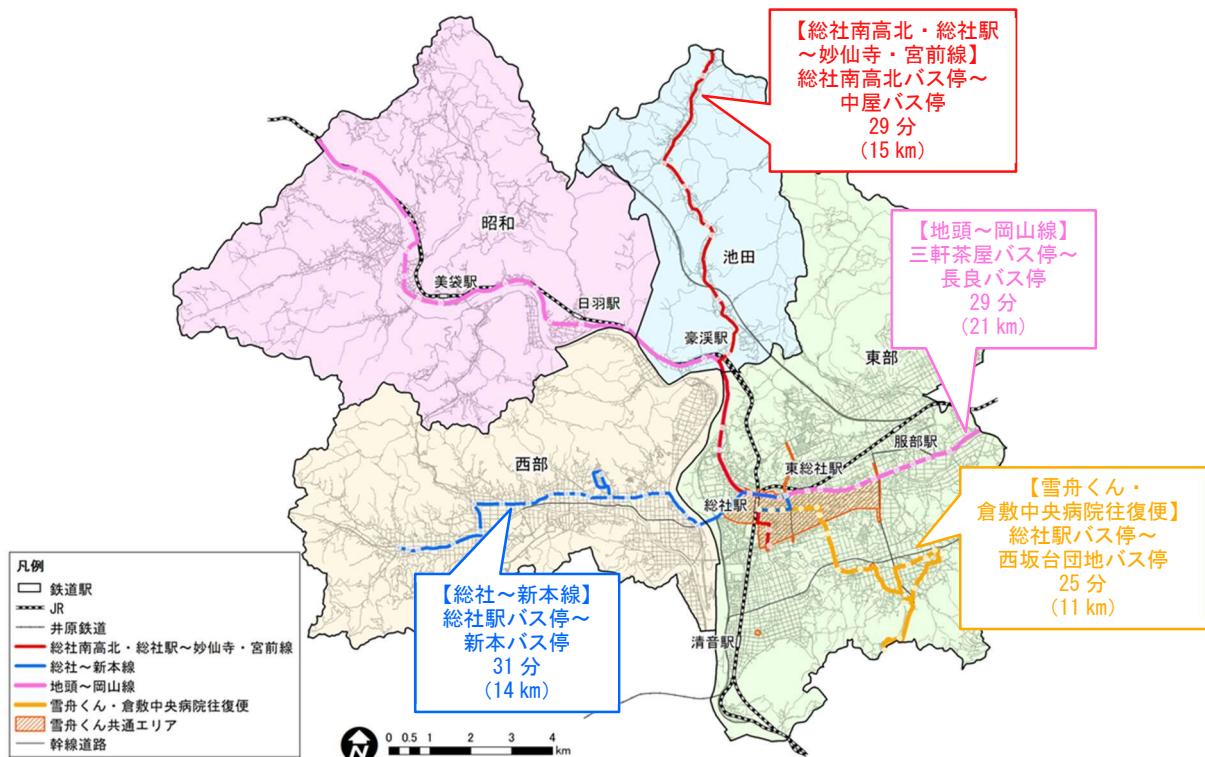


出典：総社市資料

### 3-4-3. 所要時間

各バス路線のバス停間での所要時間は、各路線で概ね 30 分程度となっています。

図 総社市内バスの所要時間



出典：NAVITIME, 総社市 HP (2025年10月閲覧)

### 3-4-4. 運行時間帯

各路線バスの運行時間帯は下表のとおりであり、雪舟くん・倉敷中央病院往復便で片道 5 本/日、地頭～岡山線で片道 3 本/日、その他の路線で片道 2 本と非常に少ない状況にあります。

表 運行時間帯

時間	総社駅着時間			美袋駅着時間	
	総社～新本線 (終点)	総社南高北・総社駅～妙仙寺・宮前線		雪舟くん・ 倉敷中央病院 往復便 (終点)	地頭～岡山線
		妙仙寺/宮前方面～	総社南高北 方面～		長良方面～
6時台	51				
7時台					
8時台	11	2			43
9時台				0	58
10時台		6			
11時台					13
12時台					
13時台				30	
14時台				45	11
15時台					26
16時台			54	15	
17時台					
18時台			54		26
19時台				0	

出典：総社～新本線、総社南高北・総社駅～妙仙寺・宮前線、雪舟くん・倉敷中央病院往復便／総社市・事業者 HP  
地頭～岡山線／NAVITIME (2025年10月閲覧)

※総社駅又は美袋駅に到着するバスの時刻を整理（地頭～岡山線は美袋駅に近接の「昭和小学校前」とした）

### 3-4-5. 利用者数

一日あたりのバス利用者数について、備北バスの地頭～岡山線が最も多く、他の路線は 20 人以下となっています。

表 利用者数（日平均）

年度	中鉄バス		備北バス 地頭～岡山線	雪舟くん・ 倉敷中央病院 往復便	総計	単位: 人
	総社南高北・ 総社駅～妙仙 寺・宮前線	総社～新本線				
令和5年度	15	6	63	8	92	

出典：総社市資料

### 3-4-6. 鉄道との乗継状況

JRとの乗継に関しては、待ち時間は少ない状況にありますが、待ち時間が30分以上となる便も見られます。

一方、井原鉄道では待ち時間が50分を超える便が多く見られます。

表 総社駅における乗継状況

バスから鉄道への乗継ぎ

バスの到着時刻		電車の到着時刻		待ち時間
系統	時間	方面	時間	
総社～新本線	6:51	岡山	7:07	0:16
		高梁	7:06	0:15
		倉敷	7:05	0:14
		井原	7:10	0:19
総社南高北・総社駅～妙仙寺・宮前線 (妙仙寺前/宮前方面～)	8:02	岡山	8:07	0:05
		高梁	8:20	0:18
		倉敷	8:35	0:33
		井原	8:09	0:07
総社～新本線	8:11	岡山	8:38	0:27
		高梁	8:20	0:09
		倉敷	8:35	0:24
		井原	12:06	3:55
雪舟くん・ 倉敷中央病院往復便	9:00	岡山	9:06	0:06
		高梁	9:47	0:47
		倉敷	9:31	0:31
		井原	12:06	3:06
総社南高北・総社駅～妙仙寺・宮前線 (妙仙寺前/宮前方面～)	10:06	岡山	10:23	0:17
		高梁	10:26	0:20
		倉敷	10:26	0:20
		井原	12:06	2:00
雪舟くん・ 倉敷中央病院往復便	13:30	岡山	13:54	0:24
		高梁	13:45	0:15
		倉敷	14:09	0:39
		井原	14:02	0:32
雪舟くん・ 倉敷中央病院往復便	14:45	岡山	14:54	0:09
		高梁	14:49	0:04
		倉敷	14:50	0:05
		井原	15:05	0:20
雪舟くん・ 倉敷中央病院往復便	16:15	岡山	16:24	0:09
		高梁	16:19	0:04
		倉敷	16:48	0:33
		井原	17:04	0:49
総社南高北・総社駅～妙仙寺・宮前線 (総社南高北方面～)	16:54	岡山	16:54	0:00
		高梁	17:09	0:15
		倉敷	17:33	0:39
		井原	17:04	0:10
総社南高北・総社駅～妙仙寺・宮前線 (総社南高北方面～)	18:54	岡山	18:54	0:00
		高梁	18:56	0:02
		倉敷	19:34	0:40
		井原	19:14	0:20
雪舟くん・ 倉敷中央病院往復便	19:00	岡山	19:24	0:24
		高梁	19:19	0:19
		倉敷	19:34	0:34
		井原	19:14	0:14

鉄道からバスへの乗継ぎ

電車の到着時刻		バスの到着時刻		待ち時間
方面	時間	系統	時間	
岡山	6:31	雪舟くん・ 倉敷中央病院往復便	7:30	0:59
	7:05			0:25
	7:05			0:25
	7:14			0:16
岡山	7:40	総社南高北・総社駅～妙仙寺・宮前線 (総社南高北方面へ)	8:02	0:22
	7:49			0:13
	7:55			0:07
	8:01			0:01
岡山	8:48	雪舟くん・ 倉敷中央病院往復便	9:00	0:12
	8:34			0:26
	8:52			0:08
	8:01			0:59
岡山	11:48	雪舟くん・ 倉敷中央病院往復便	12:00	0:12
	11:50			0:10
	11:53			0:07
	11:37			0:23
岡山	12:48	総社南高北・総社駅～妙仙寺・宮前線 (妙仙寺前/宮前方面へ)	13:02	0:14
	11:50			1:12
	12:49			0:13
	12:37			0:25
岡山	14:29	雪舟くん・ 倉敷中央病院往復便	14:45	0:16
	14:09			0:36
	14:09			0:36
	13:37			1:08
岡山	16:31	総社南高北・総社駅～妙仙寺・宮前線 (妙仙寺前/宮前方面へ)	16:54	0:23
	16:48			0:06
	16:47			0:07
	16:54			0:00
岡山	17:01	雪舟くん・ 倉敷中央病院往復便	17:30	0:29
	17:21			0:09
	17:08			0:22
	17:28			0:02
岡山	17:31	総社～新本線	17:50	0:19
	17:21			0:29
	17:45			0:05
	17:28			0:22
岡山	18:31	総社南高北・総社駅～妙仙寺・宮前線 (妙仙寺前/宮前方面へ)	18:54	0:23
	18:43			0:11
	18:15			0:39
	18:37			0:17

出典：NAVITIME 路線バス時刻表、総社市・事業者 HP (2025年10月閲覧)

※普通列車を対象、井原鉄道については清音駅始発・終着の便は含めずに集計

## 3-5. 総社市新生活交通「雪舟くん」

公共交通空白地域の解消及び公共交通網の補完を目的に、予約型の乗合方式による交通体系（デマンドタクシー）として、総社市新生活交通「雪舟くん」が平成23年（2011）4月より運行されています。

### 3-5-1. 雪舟くんの概要

#### （1）雪舟くんの概要

総社市新生活交通「雪舟くん」は、交通空白地の解消と十分でない公共交通網を補う意味から生まれた、予約型で乗合方式の市民みんなの乗り物です。

7人乗り（乗車定員5人）のワンボックスカーを使い、自宅の戸口を出てから目的の戸口までを、1人1回乗車300円の運賃で送迎しています。

なお、運行については、市内バス・タクシー事業者に委託しています。

#### （2）利用方法等について

運行は平日のみで、午前8時から午後4時台までとしています。土・日曜日、祝日、年末年始は、運休となります。

市内を、東部、西部、池田、昭和の4つの区域と、市街地に設定する「共通エリア」の5つの区域を使って運行します。

#### 利用方法

- 1: 乗車場所も目的地も同じ区域内にある場合の運賃は、1人1乗車300円で利用できます。（減免制度あり）
- 2: 次頁図で示す共通エリア（官公庁や病院、商業施設などが多く、多くの人の利用が想定される区域）に目的地や乗車場所があり、東部、西部、昭和、池田のいずれかの区域との間を移動する場合の運賃も、1人1乗車300円で利用できます。
- 3: 東部、西部、昭和、池田の各区域間を移動する場合は、一度共通エリアに向かい、共通エリア内で別の車両に乗り換え、目的地に向かいます。2回乗車になるため運賃は600円です。
- 4: 車いすを使っている人や、一人で乗り降りできない人は利用できません。また、ひざの前に置くことができないほど大きな荷物を持っての乗車はできません。買い物や通院などで外出するとき、1時間前までに行き帰りの電話予約をすると、自宅などに迎えに行き、希望する目的地までお送りします。また、帰るときは、商店や病院などに迎えに行き、自宅などにお送りします。乗り合いなので、目的地に向かう途中、別の利用者のお宅や目的地を、順番に回りながらの運行をするため、正確な定時での運行はできません。

#### 一般的な利用例

##### 1) 利用申込

電話で予約する。利用する1週間前から1時間前までに、電話で予約します。（午前8時台の予約は、前日までに）

##### 2) 迎え

300円払い乗車（予約した利用者のうち、一番遠い人から迎えに行きます。運賃は、乗車したときに支払います）

##### 3) 移動（乗り合い）

目的地に直行するタクシーとは異なり、目的地に向かう途中、別の利用者のお宅や目的地を、順番に移動します。

##### 4) 到着

目的地に到着し、下車します。帰宅の場合も同様に予約をすれば、総社市新生活交通を利用できます。

##### 1. 利用申込



##### 2. 迎え



##### 3. 移動、乗り合い



##### 4. 到着



図 総社市新生活交通「雪舟くん」利用エリア



出典：総社市資料

### 3-5-2. 運行時間

運行時間は、平日の午前8時から午後4時台までとなっています。

### 3-5-3. 利用者数

#### (1) 利用者数の経年変化

令和6年度（2024）の年間利用者数は42,634人であり、一日あたりの利用者数は178人となっています。

また、利用者数の推移では、新型コロナウイルス感染症流行の影響を受けて減少し、それ以降は横ばい傾向となっています。

表 総社市新生活交通「雪舟くん」利用者数・登録者数

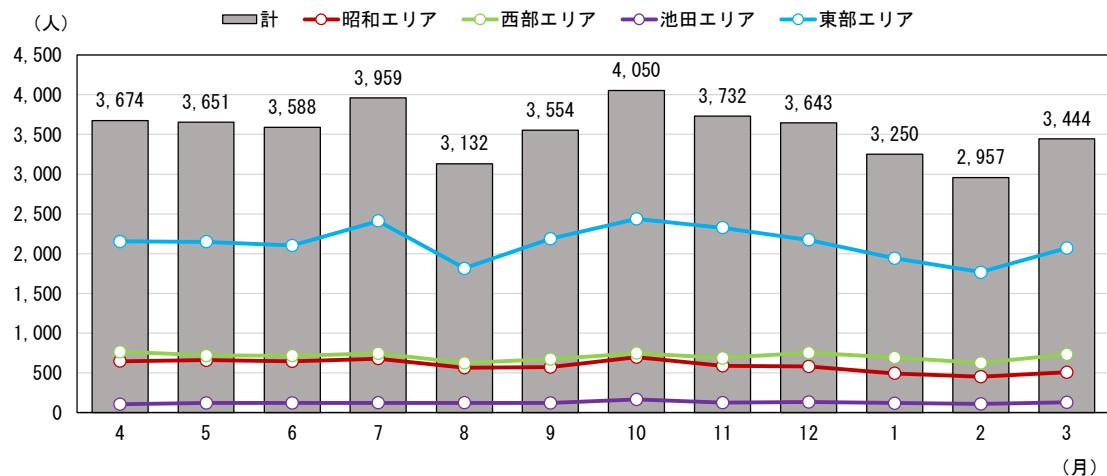
	年間利用者数	一日あたりの利用者数	登録者数（累計）
平成29年度 (2017)	52,926	219	18,235
平成30年度 (2018)	51,572	214	18,767
令和元年度 (2019)	51,022	216	19,553
令和2年度 (2020)	42,055	175	19,997
令和3年度 (2021)	42,328	176	20,564
令和4年度 (2022)	42,718	177	21,059
令和5年度 (2023)	44,081	184	21,660
令和6年度 (2024)	42,634	178	22,060

出典：総社市資料

## (2) 月別利用者数

各月の利用者数は概ね3,500人程度を推移していますが、8月及び1月、2月において利用者数が少なくなっています。

図 月別利用者数



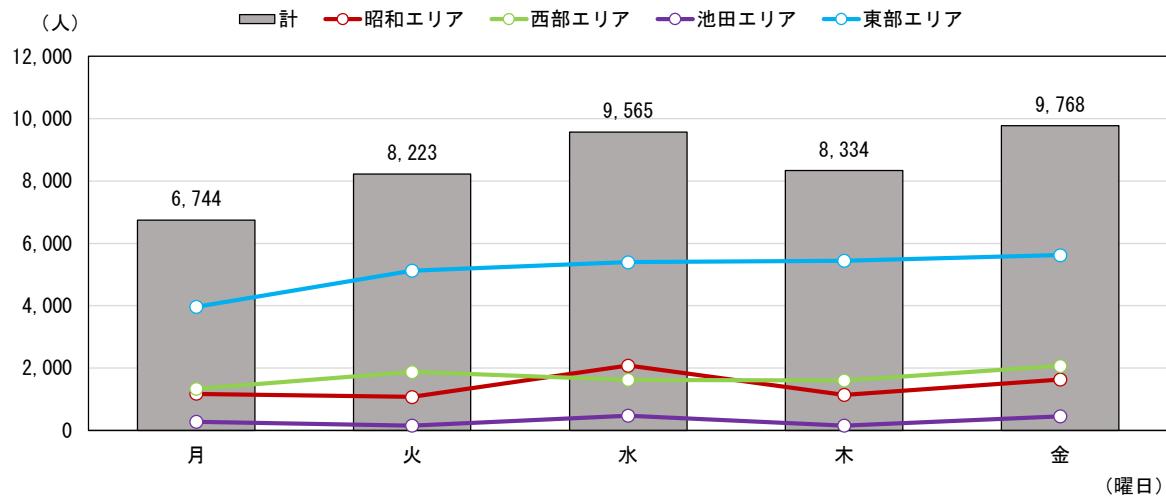
出典：総社市資料（令和6年度）

## (3) 曜日別利用者数

月曜日が6,700人程度と最も少なく、水曜、金曜日は9,500人以上と多くなっています。火曜、木曜は8,300人程度となっています。

月曜日の利用者数は金曜日の利用者数の7割程度に留まっています。

図 曜日別利用者数



※振替休日の影響あり

出典：総社市資料（令和6年度）

#### (4) 運行時間帯別利用者数

行きは、8～10時台に集中しており、当該3時間帯で全体の6割を占めています。

帰りは、14時台の利用こそ少ないものの、11～16時の間に広く分散しています。

行き帰り合計で最も多いのは9時台の約6,500人、最も少ないのは14時台の約3,000人であり、その他の時間帯は概ね3,500～6,000人の利用となっています。

図 運行時間帯別利用者数（行き）

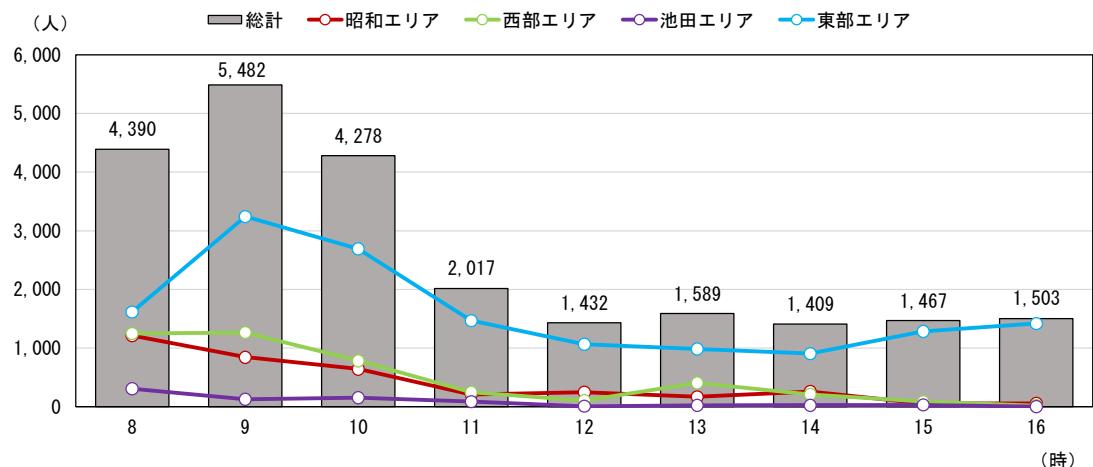


図 運行時間帯別利用者数（帰り）

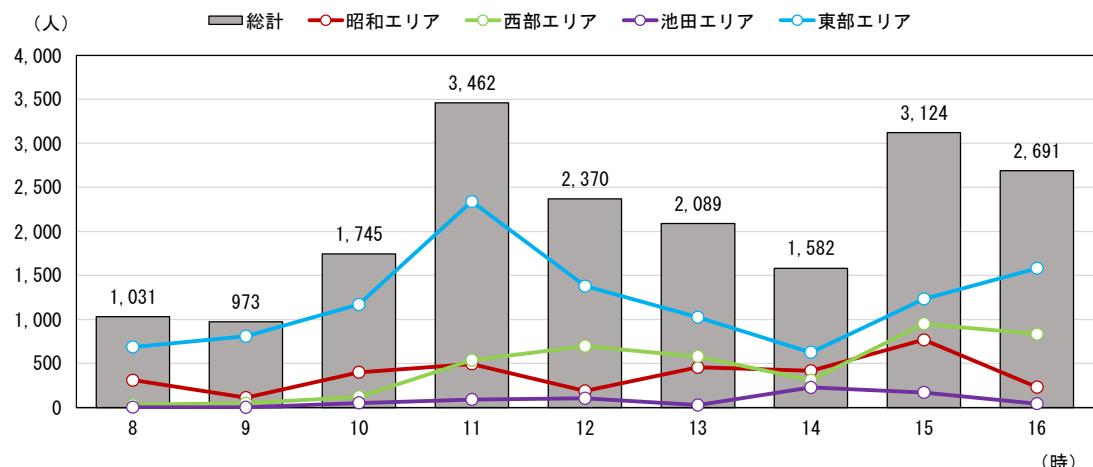
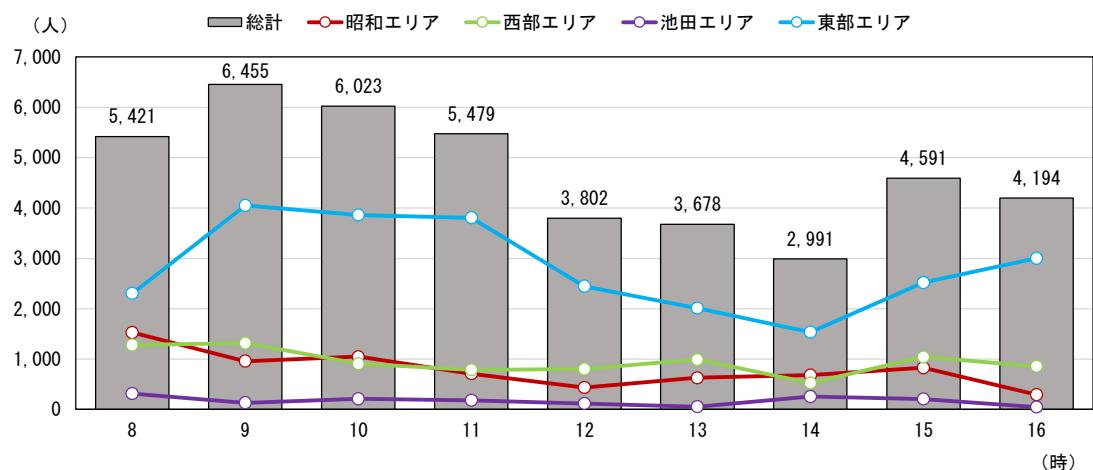


図 運行時間帯別利用者数（合計）



出典：総社市資料（令和6年度）

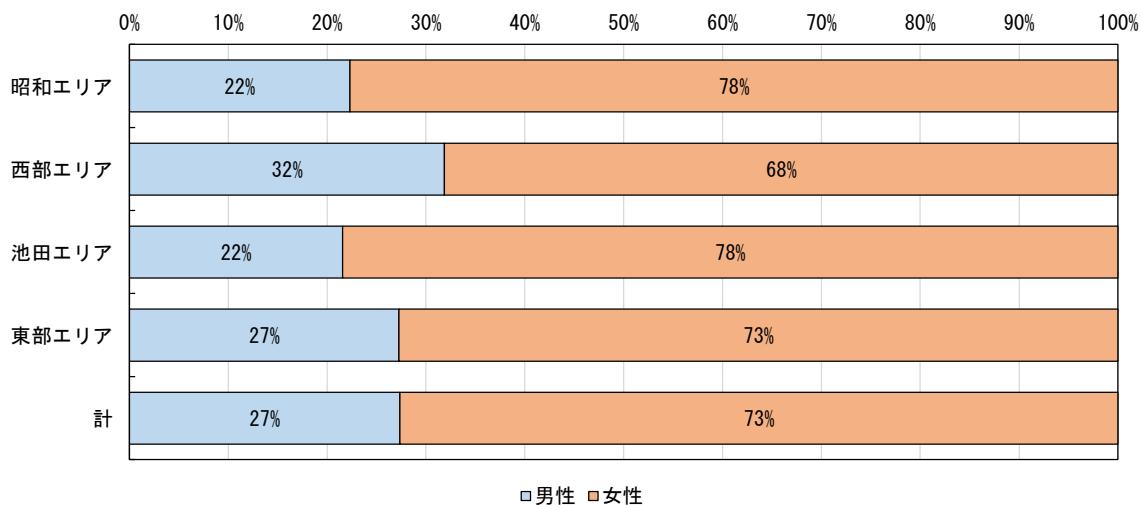
### 3-5-4. 利用者属性

この1年間で雪舟くんを利用した1,474人の属性についてみると、女性の割合は全体の73%を占めており、いずれのエリアでも6割を超えています。

また、年代別では60歳以上の利用者が全体の8割を占めており、特に昭和、池田エリアでは9割を占めています。

実利用率は昭和エリアが5.7%で最大となっています。

図 性別



出典：総社市資料（令和6年度）

図 年代別



出典：総社市資料（令和6年度）

表 実利用率

	人口(人)	実利用者(人)	実利用率
昭和エリア	2,720	157	5.8%
西部エリア	8,909	254	2.9%
池田エリア	1,123	51	4.5%
東部エリア	56,278	1,014	1.8%
計	69,030	1,474	2.1%

出典：令和2年国勢調査、総社市資料（令和6年度）

### 3-5-5. エリア別トリップ数（※雪舟くんに乗って降りるまでの移動を1トリップとしている。）

西部, 池田, 昭和, 東部（共通エリアを除く）の各エリアにおけるトリップ数をみると、東部エリアが約13,500件と最も多く、池田エリアが約1,500件と最も少なくなっています。西部エリア, 昭和エリアは概ね7,000~9,000件程度となっています。

共通エリア関連のトリップ数はエリア内が約12,000件、エリア外が約28,000件となっています。

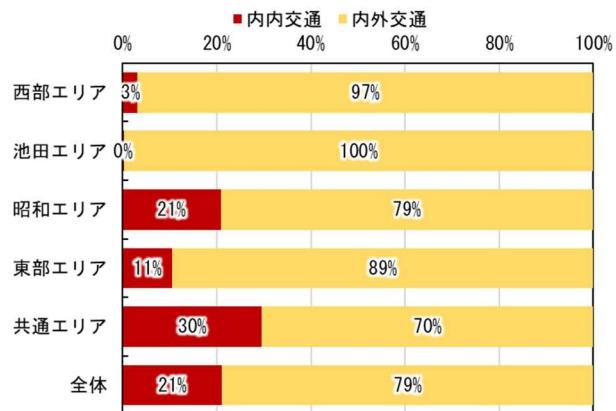
エリア内交通の割合は全体で21%であり、エリア別にみると、共通エリア内（30%）、昭和エリア内（21%）で高く、西部エリア（3%）、池田エリア（0%）で低くなっています。

※トリップ：ある目的を持って発地から着地へ移動する際の、一方向の移動を表す概念のこと。同時にその移動を定量的に表現する際の単位。（例：自宅⇒勤務地/1トリップ、自宅⇒勤務地⇒飲食店⇒自宅/3トリップ）

図 エリア別トリップ数



図 エリア内移動の割合

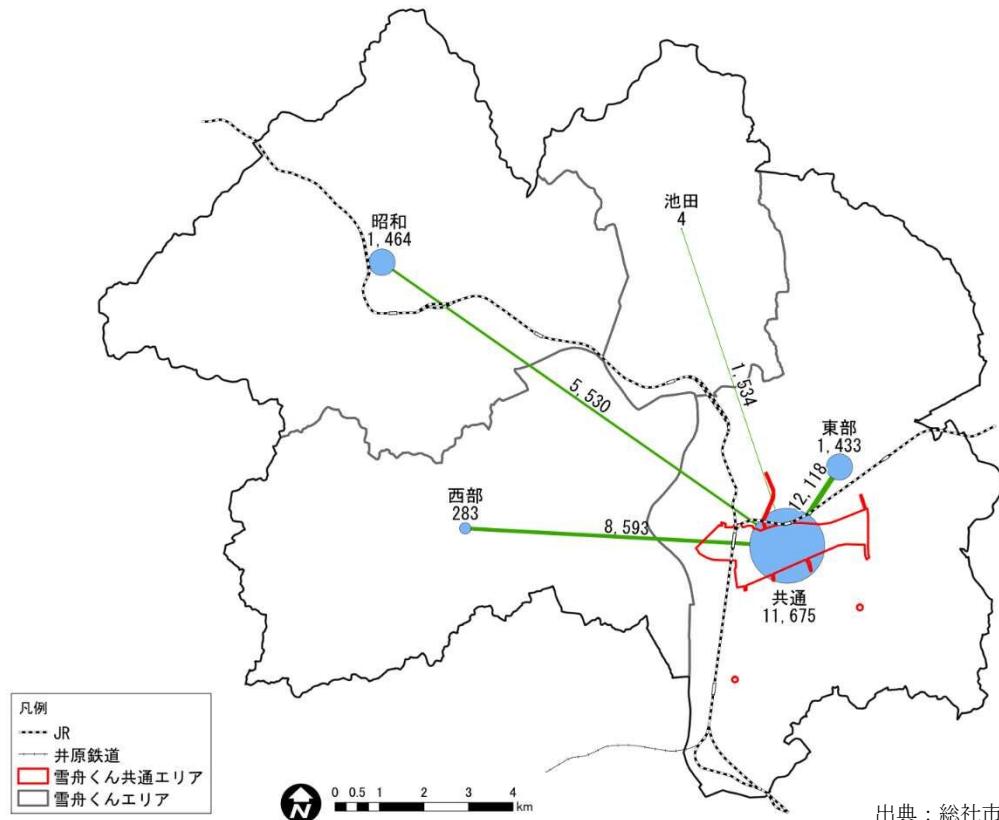


出典：総社市資料（令和6年度）

※東部エリアは共通エリアを除く

※集計の便宜上、共通エリアに一部でも含まれる地区は全て共通エリアとした。

図 各エリアの内々・内外トリップ数



出典：総社市資料（令和6年度）

### 3-5-6. 地区別利用状況

#### (1) 地区別利用率

各地区の居住人口は、昭和及び池田エリアでいずれの地区も1,000人未満であり、西部エリアでは新本、秦の両地区で1,000人を越え、久代で3,000人を越えています。

地区別利用者数は、西部地区の久代で50人を越えるほか、同じく西部地区の新本、秦地区、昭和地区の美袋、下倉地区、東部エリア周辺地区で30人を越えています。

利用率では、昭和エリアの延原地区が10.3%と突出しているほか、昭和エリアの利用率が他のエリアと比較して高い一方、西部エリア及び東部エリアではほとんどの地区の利用率が4%未満となっています。

図 地区別人口

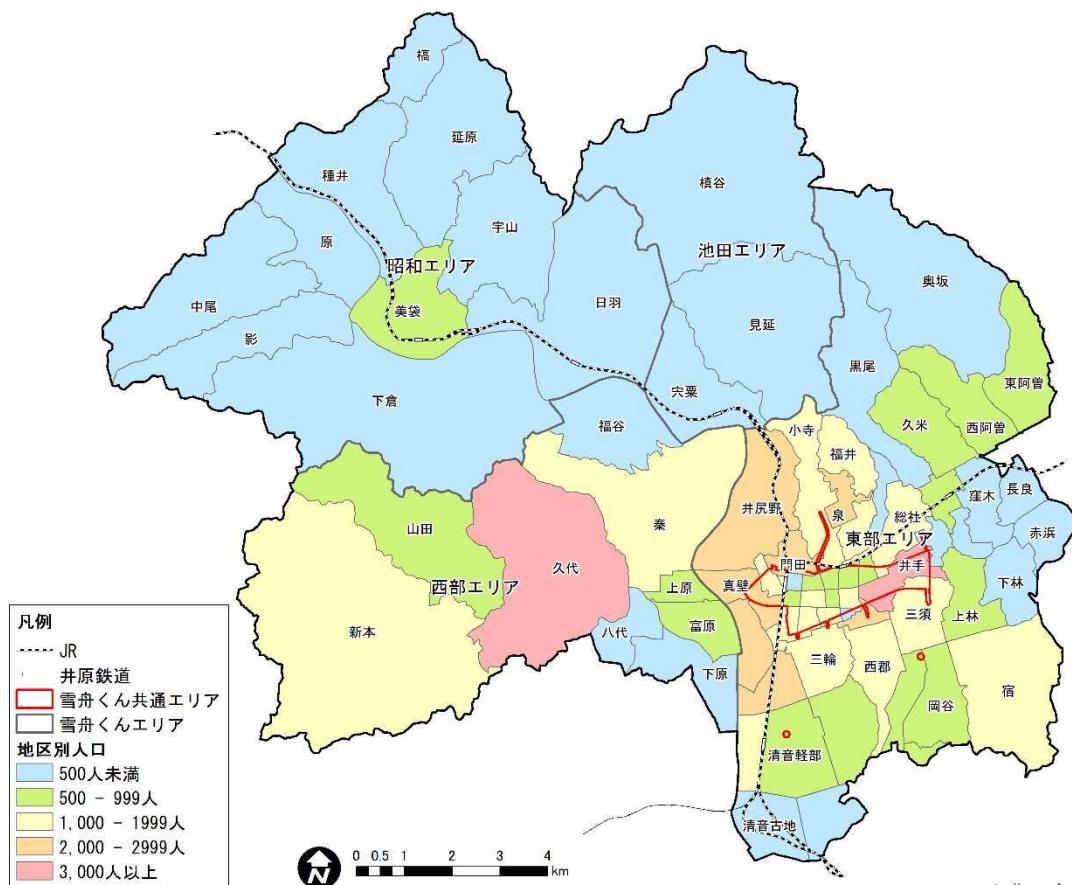
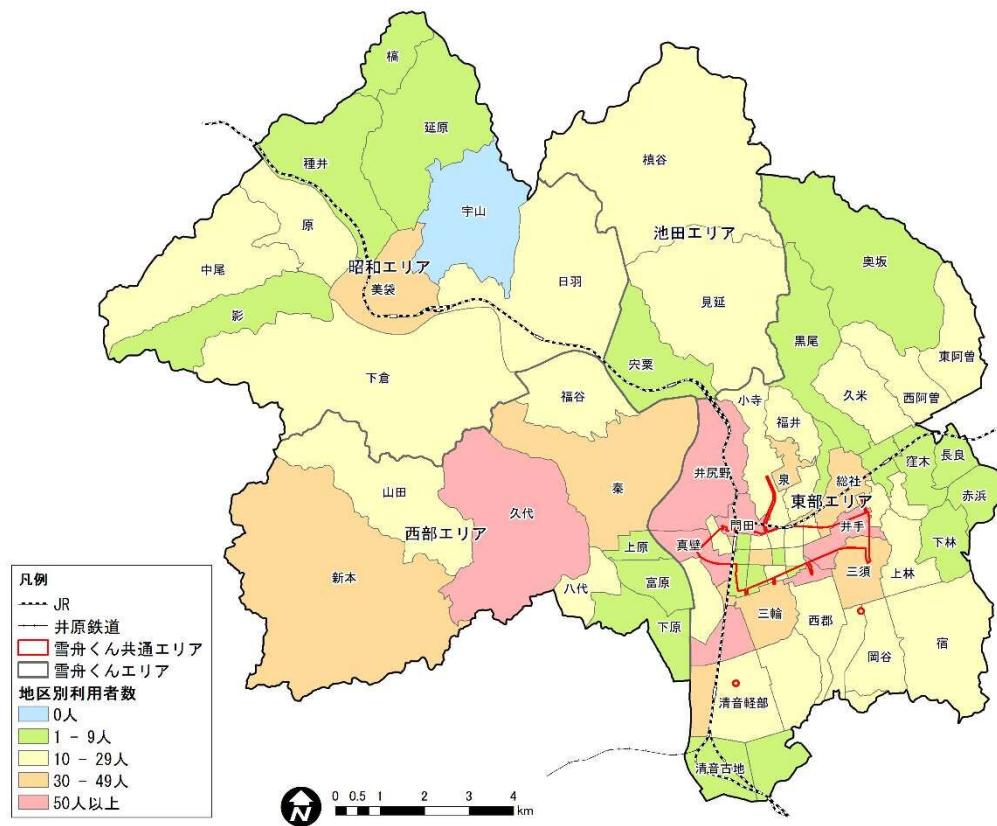


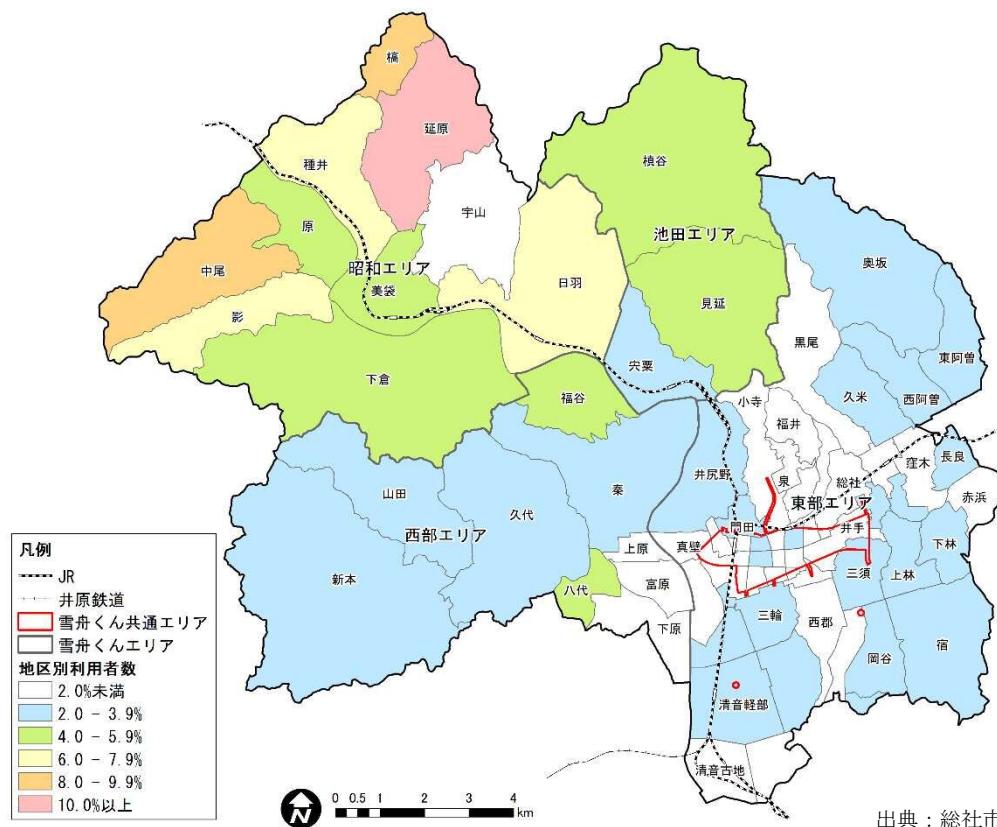
図 地地区別利用者数



出典：総社市資料（令和6年度）

※利用者数は令和6年4月～令和7年3月の間に雪舟くんを利用した人（1,475人）を対象とし、何回利用しても1人としてカウントしている。

図 地地区別利用率（地区別利用者数／地区別人口）



出典：総社市資料（令和6年度）

(2) 地区別出発地・目的地件数

行きの出発地では、1,000 件をこえる地区が各地に点在する一方、行きの目的地では、500 件を越えるのは共通エリア周辺地区及び昭和エリアの美袋地区に限られており、美袋地区が共通エリア周辺地区に次いで一定の拠点性を持っていることが伺えます。

行きの出発地・目的地合計をみると、天満屋ハピータウンリブ総社店のある門田地区が5,000件以上と突出しており、同施設が雪舟くんを利用した移動の拠点となっていることが伺えます。

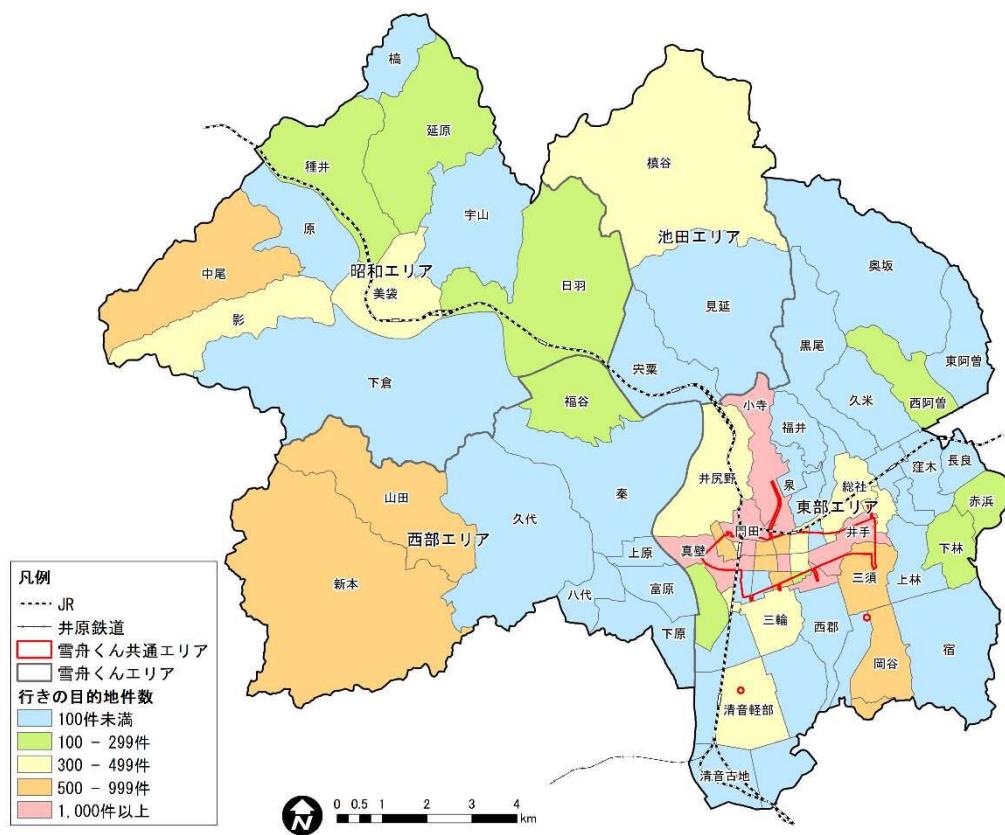
図 行きの出発地件数



出典：総社市資料（令和6年度）

※各トリップにおける目的地件数を地区別に合計して算出

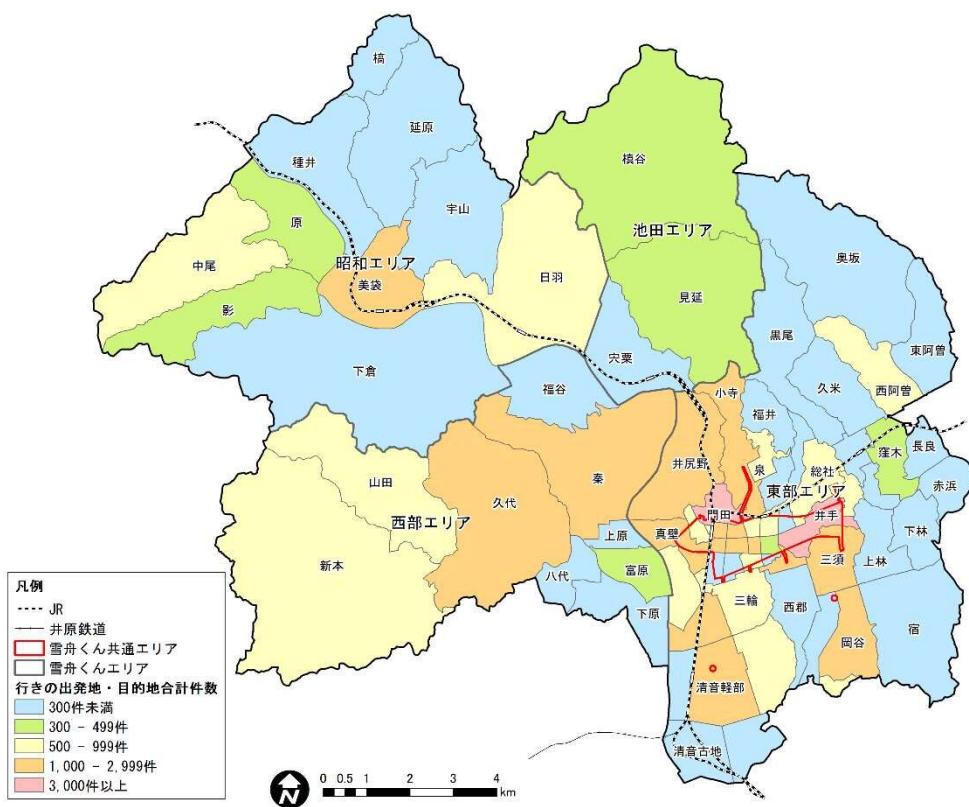
図 行きの目的地件数



出典：総社市資料（令和6年度）

※各トリップにおける目的地件数を地区別に合計して算出

図 行きの出発地・目的地件数合計



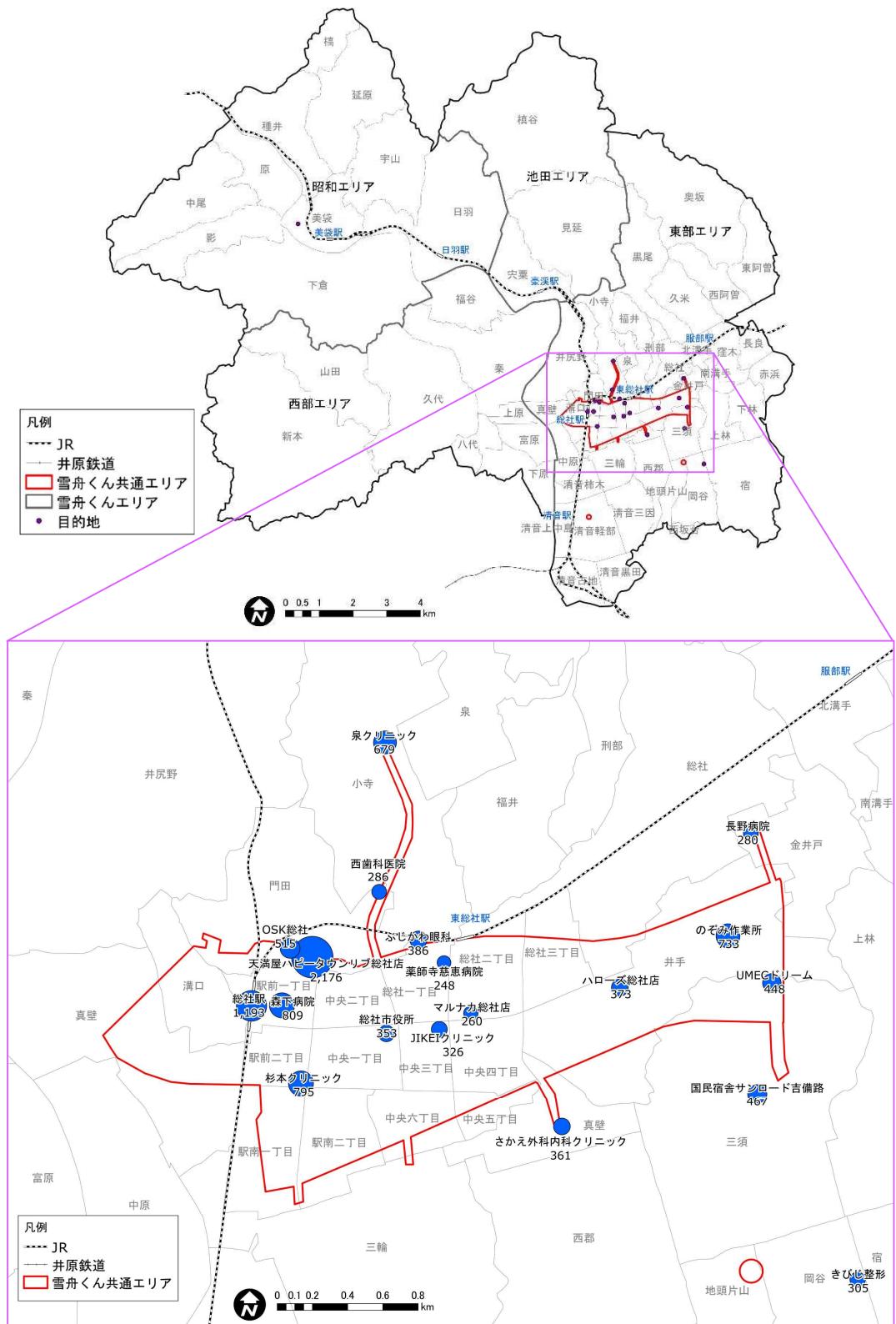
出典：総社市資料（令和6年度）

### 3-5-7. 主要目的施設の立地状況

自宅を除く行きの目的施設上位 20 位についてその位置を地図上に整理したところ、20 施設中 19 施設が共通エリア内及びその周辺、1 施設が昭和エリアの美袋地区に立地しています。

なお、利用者数の多い施設は、1 位が天満屋ハピータウンリブ総社店の 2,973 件であり、杉本クリニック (1,566 件)、泉クリニック (1,363 件)、総社駅 (1,302 件) が続いています。

図 主要目的施設の位置



出典：総社市資料（令和 6 年度）

### 3-5-8. エリア間移動の状況

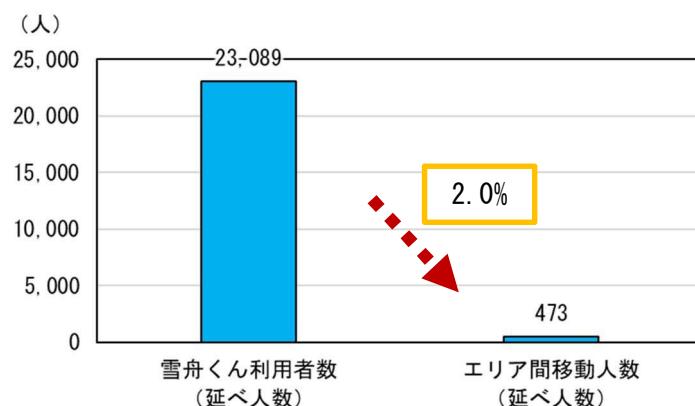
ここでは、各エリアから共通エリアを経由して他のエリアに移動する「エリア間移動」について集計・整理を行いました。

#### (1) エリア間移動人数

行きのデータに着目してエリア間移動の人数を調べたところ、延べ473人でした。

これは、令和6年4月～令和7年3月の間に雪舟くんを利用した延べ人数（人・日）23,567人に対して2.0%となっています。

図 エリア間移動人数

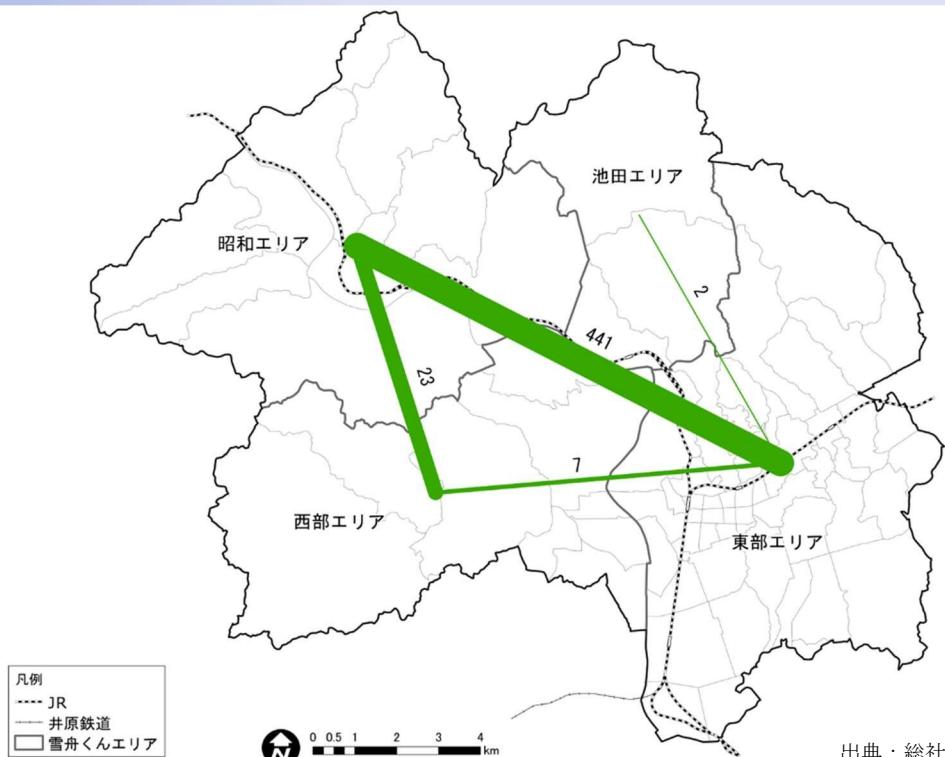


出典：総社市資料（令和6年度）

#### (2) エリア間移動のOD

エリア間移動473件のODをみると、そのうち441件（93%）が昭和エリア～東部エリア間（共通エリアを除く）の移動であり、次いで西部エリア～昭和エリア間の移動が23件（5%）となっています。

図 エリア間移動のOD



出典：総社市資料（令和6年度）

※OD: Oは出発地（起点: origin）、Dは目的地（終点: destination）を表す。

### 3-6. タクシー

市内に事業所のあるタクシー事業者は、豪渓交通、日の丸タクシー、備北タクシー、美袋交通の4社であり、保有台数は4社合計でタクシーが34台、ジャンボタクシーが4台となっています。

表 各社保有台数

事業者名	事業所所在地	種別	台数	運転手人数
豪渓交通	宍粟	タクシー	6	6※
		ジャンボタクシー	1	
日の丸タクシー	総社 清音	タクシー	5	6
		タクシー	8	10
		ジャンボタクシー	2	
備北タクシー	中央	タクシー	7	8
		ジャンボタクシー	1	
美袋交通	美袋	タクシー	8	11

※バスとの兼務含む

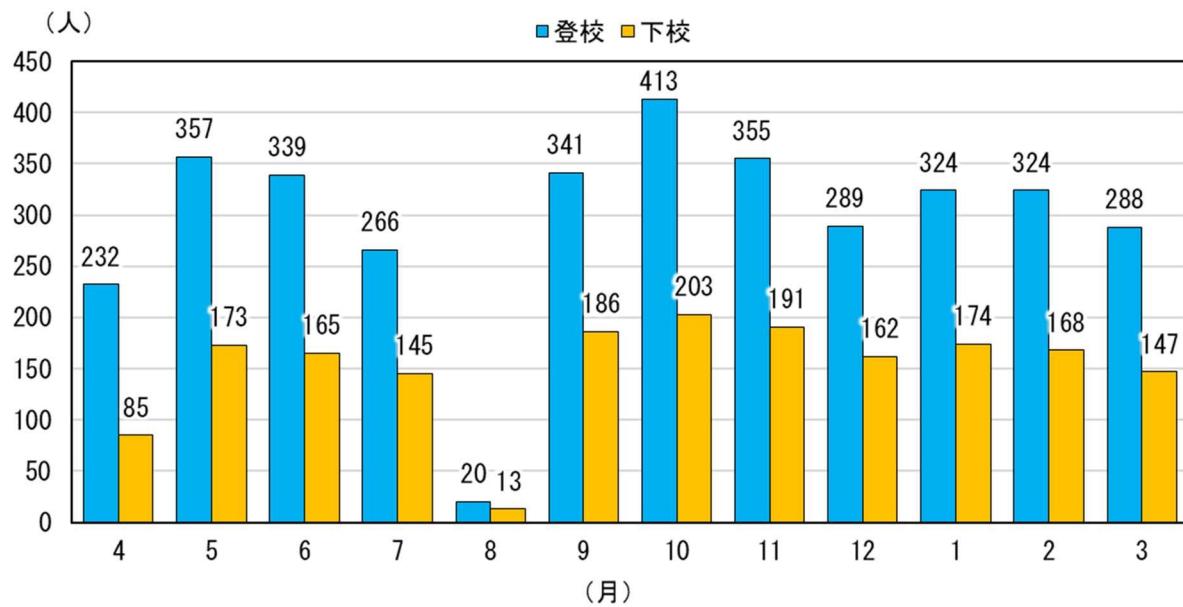
出典：事業者資料（令和7年）

### 3-7. スクールバス

令和6年（2024）4月に開校した総社市立昭和五つ星学園では、旧維新小学校区の児童を対象にスクールバスを運営しています。令和6年度の年間利用者数は5,360人であり、一日あたりの利用者数は25.9人となっています。

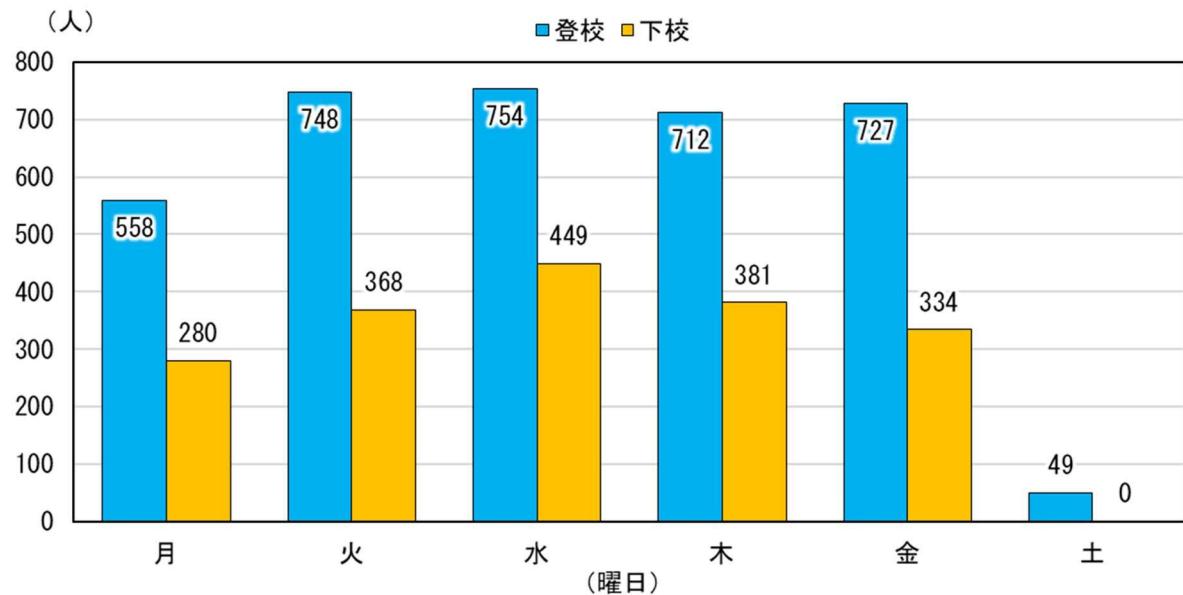
また、登校時のほうが下校時より利用者が多く、月ごとでみると体育祭のある10月、曜日ごとでみると水曜日の利用が最も多くなっています。

図 月別利用者数



出典：総社市資料（令和6年度）

図 曜日別利用者数



出典：総社市資料（令和6年度）

### 3-8. 福祉有償運送

福祉有償運送とは、単独で公共交通機関の利用が困難で、移動に制約がある方に対して、通院・通学等の日常外出だけでなく、行楽・余暇活動等生活の質と範囲を広げる手助けとして、低料金で、福祉車両で送迎（乗降介助を含む）をするサービスです。利用するためには、事業者への事前登録が必要です。

現在、市内では4事業者が利用可能となっています。

表 利用可能な事業所

事業者名	所在地
(福)超寿会	総社市小寺 986-1
(福) ももぞの学園吉備自立支援センター	総社市下林 1287-1
(福) 義風会	岡山市北区下足守 1898
(福) 雪舟福祉会	総社市久代 5127

出典：総社市資料（令和6年度）

### 3-9. 総社市版ライドシェア

地域が主体となり、高齢者の買い物等の移動手段を確保するボランティア団体の取り組みに対し、市は「総社市版ライドシェア」として、アルコール検知器・ドライブレコーダーの貸与、自家用有償旅客運送の大蔵認定講習の費用と受講手続き代行、運行時の自動車保険の費用等についての支援を行っています。

表 総社市版ライドシェア登録団体

団体名	内容
三須桃山団地買物支援隊	・最寄りのスーパーへの同行支援（週1回） ・通院支援（月に数件）
生活支援ボランティアとんばら	・市内ショッピングセンターへの同行支援（月1回） ・通院支援（月に数件）
移動支援ふくたに	・市内ショッピングセンターへの同行支援（月1回）

出典：総社市資料（令和6年度）

表 その他の移動支援団体

団体名	内容
総社北買い物バス	・市内ショッピングセンターへの同行支援（月2回） ・社会福祉法人の社会貢献活動で運行
池田地区買い物支援隊	・市内ショッピングセンターへの同行支援（月2回） ・社会福祉法人の社会貢献活動で運行

出典：総社市資料（令和6年度）

### 3-10. 公共交通関連支出額

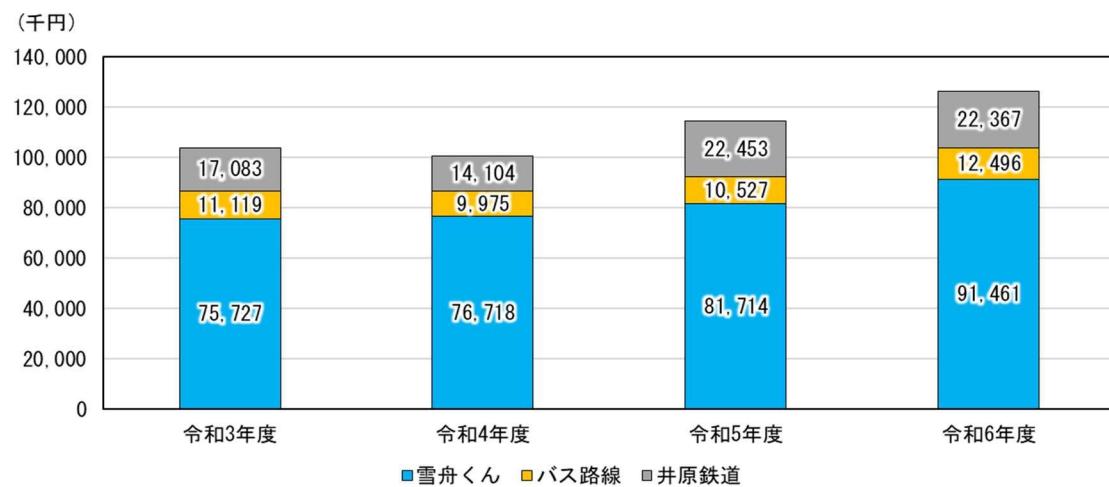
鉄道は、JR伯備線及びJR桃太郎線、井原鉄道井原線の3路線が運行されています。井原鉄道については第3セクター方式のため、市から基盤整備に係る補助金を支出しています。

バスは、JR総社駅等を起点に市内各地を結ぶバス路線が運行されており、バス路線維持のため市から事業者に補助金を支出しています。しかしながら、民間路線バスの廃止（令和3年（2021））や減便（平成23年（2011）等の影響があり、一部鉄道駅においてバス路線が接続されておらず、また運行本数は、平日を中心に1～5便／日と少ないなど、全体的に脆弱な状況であり、市内全域をドアトゥドアで目的地まで運行する「雪舟くん」が中心的な市民生活の移動手段となっています。

公共交通関連支出額は、雪舟くんの運行単価見直しやバス利用者の減少、井原鉄道の修繕費の増加などにより、年々増加しています。

表 公共交通関連支出額（参考）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
雪舟くん	75,727千円	76,718千円	81,714千円	91,461千円
バス路線	11,119千円	9,975千円	10,527千円	12,496千円
井原鉄道	17,083千円	14,104千円	22,453千円	22,367千円
合計	103,929千円	100,797千円	114,694千円	126,324千円



出典：総社市資料

### 3-11. 公共交通沿線地域の人口密度

公共交通の利便性を表す駅・バス停の徒歩圏の人口密度は、現状で11.3人/haとなっており、他都市の平均が16人/haであることから、4.7人/ha少ない状況となっています。

さらに将来は、徒歩圏内の人口密度が1.5人/ha低下すると予測されます。そのため、平成23年から市内全域をカバーし、ドアトゥドアの新生活交通「雪舟くん」を運行し、市民の移動手段を確保するよう取り組んでいます。

JR美袋駅やJR日羽駅、市街地の中心部等における人口密度の低下は、公共交通機関の利用者の減少につながり、運行本数の減少等交通利便性が低下し、地域の暮らしに不便になる可能性が懸念されます。

評価指標	算出方法	算出結果	平均 概ね30万都市
公共交通沿線地域の人口密度	鉄道駅から半径800m、及びバス停から半径300mの圏域内人口を圏域の面積で除して算出	(現状) 11.3人/ha (将来) 9.8人/ha	(現状) 16人/ha

図 鉄道駅・バス停の徒歩圏と人口密度分布（令和2年（2020））

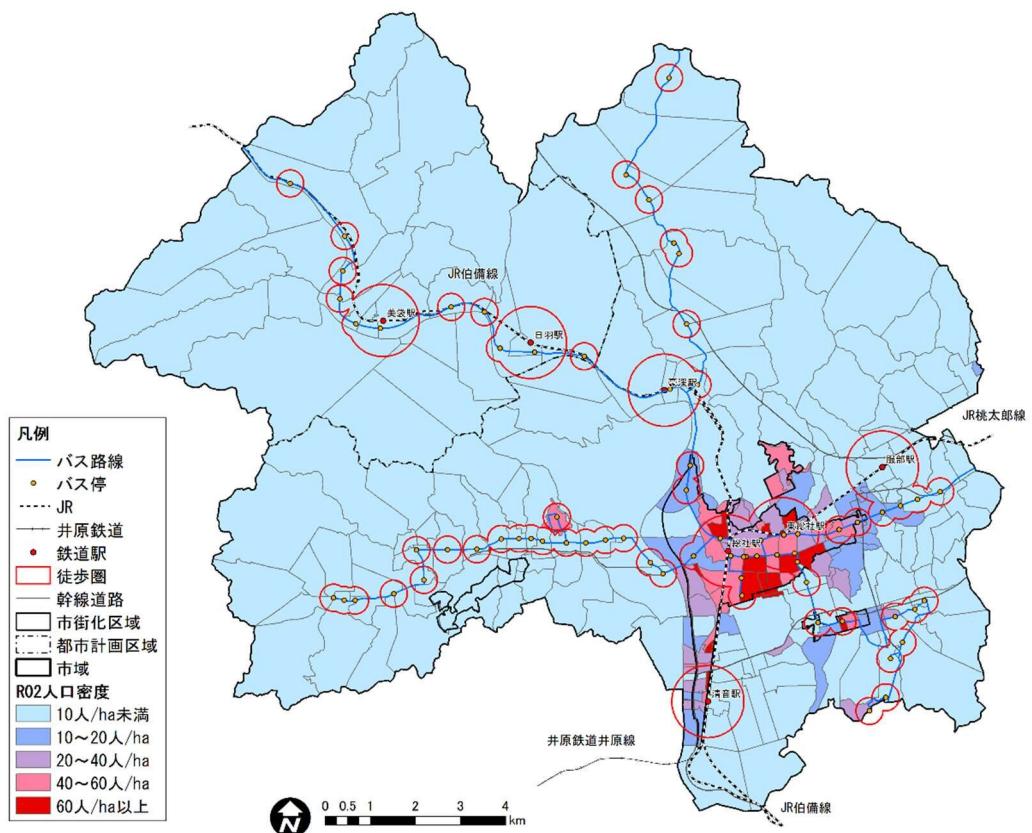
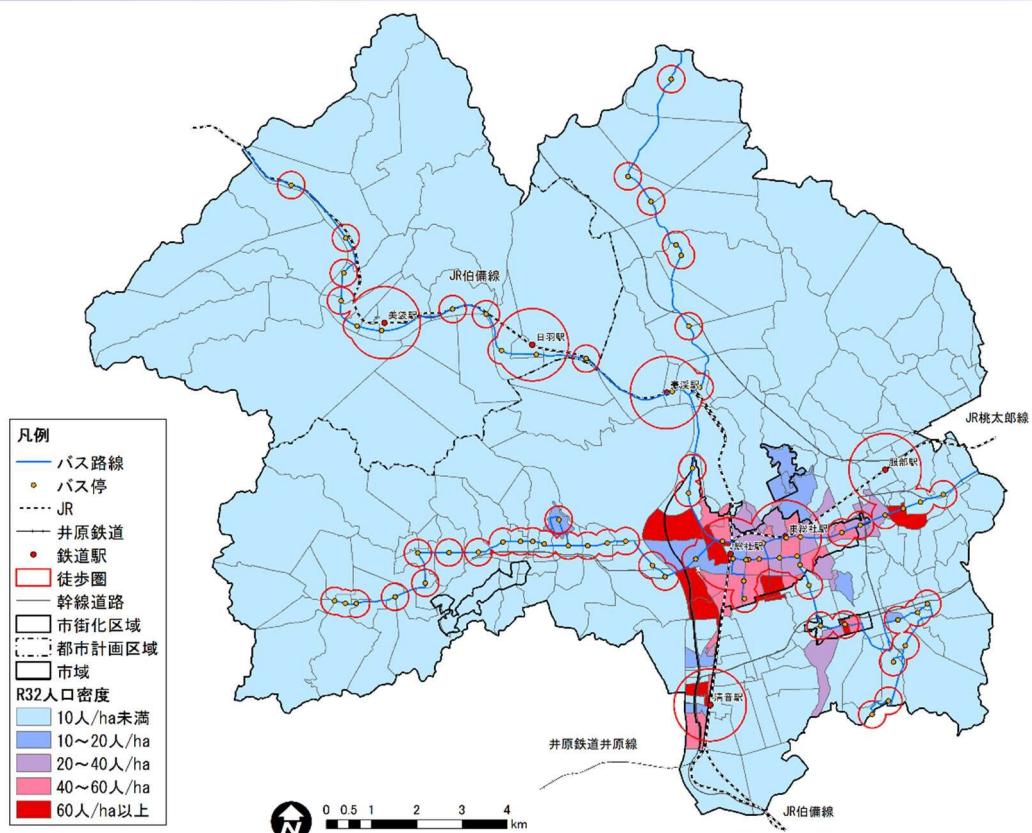


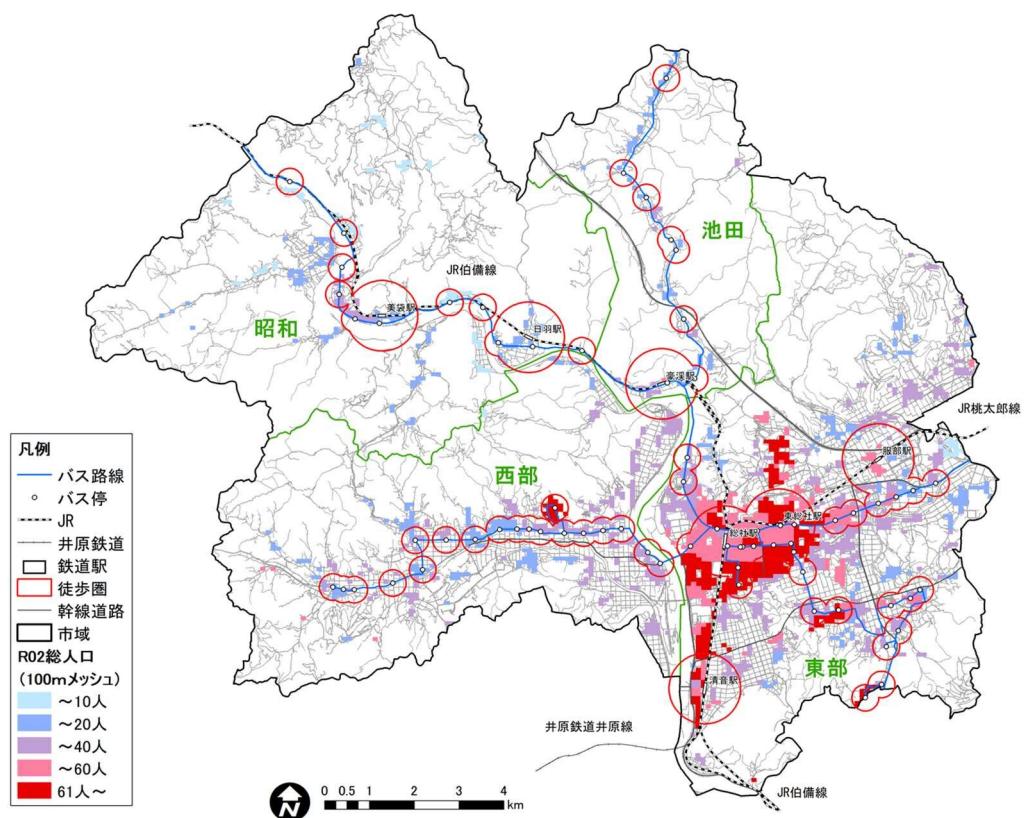
図 鉄道駅・バス停の徒歩圏と人口密度分布（令和32年（2050））



参考：国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツール」（ver3）を用いた計算結果を加工して作成  
令和2年：国勢調査, 令和32年：社会保障・人口問題研究所推計に準じて算出（令和2年人口を基準）

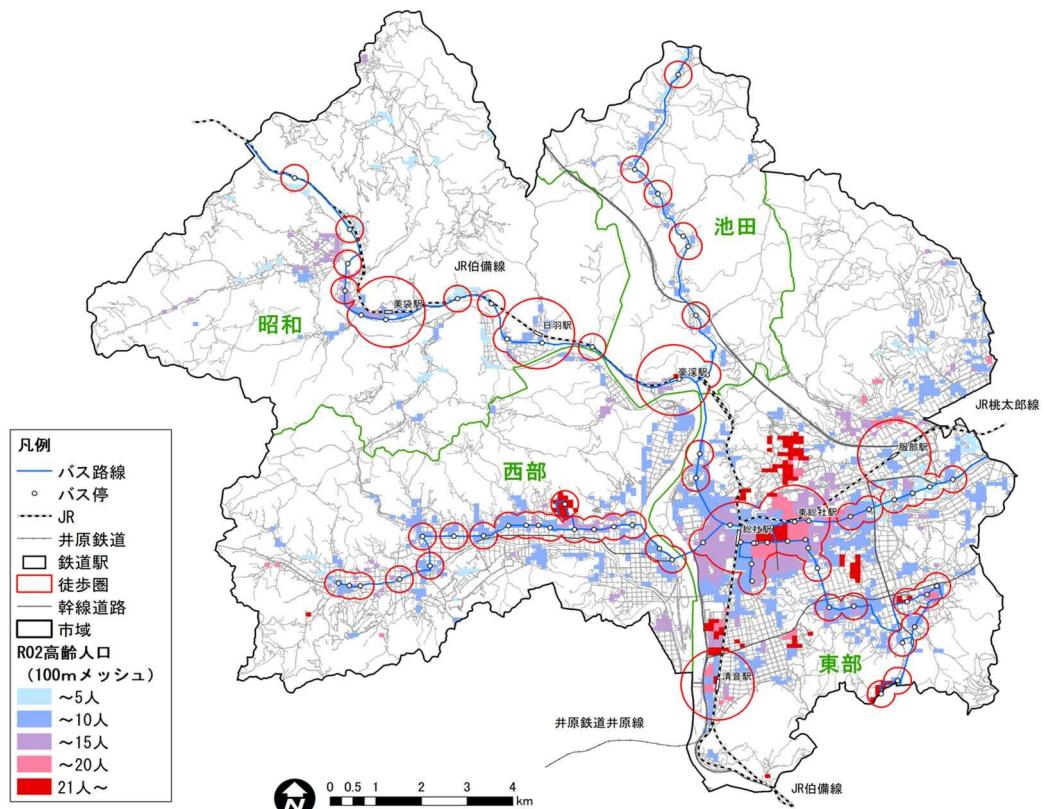
【参考：公共交通空白地域の状況】

図 メッシュ人口と公共交通空白地域の状況



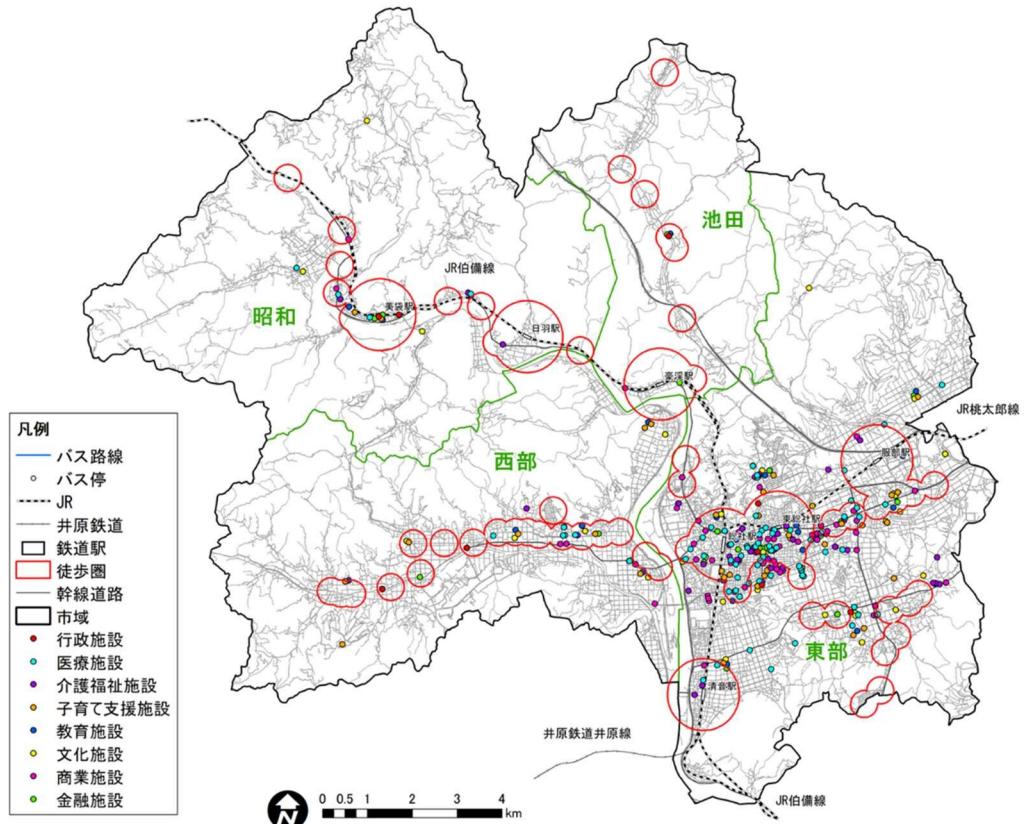
出典：令和2年国勢調査

図 高齢者数と公共交通空白地域の状況



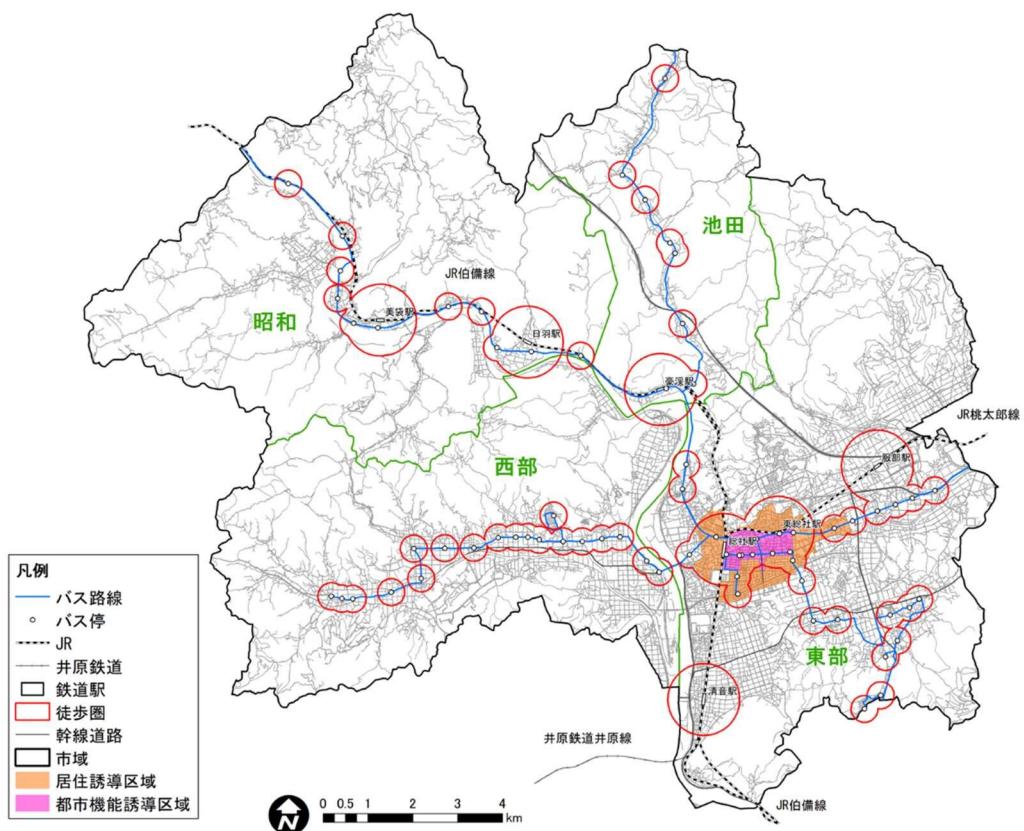
出典：令和2年国勢調査

## 図 都市施設と公共交通空白地域の状況



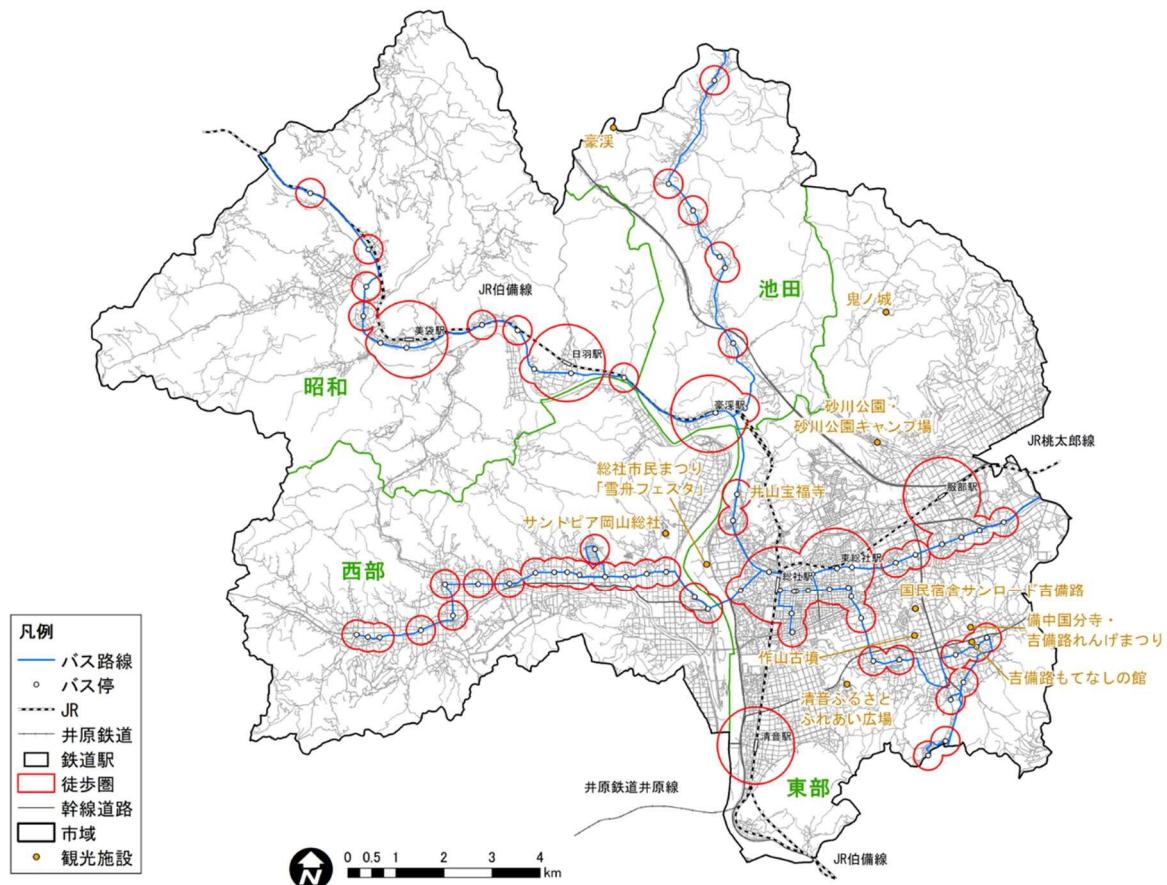
出典：おかやまオープンデータカタログ、岡山県 HP、国土数値情報、介護サービス情報公表システム、iタウンページ、Google マップ、金融機関コード・銀行コード・支店コード検索、日本郵政 HP

図 都市機能誘導区域・居住誘導区域と公共交通空白地域の状況



出典：国土数値情報[都市計画決定情報データ]（2022年）

図 観光施設と公共交通空白地域の状況



出典：総社市資料

- ※1 総社市新生活交通「雪舟くん」が市内全域で運行されているため、公共交通空白地域は存在しないが、雪舟くんの運行日時が限定されるため、時間的には公共交通空白地域が存在している。
- ※2 一般的に、「徒歩圏」とは、鉄道駅から半径800m、バス停から半径300mの圏域（「都市構造の評価に関するハンドブック」参照）を示しており、この範囲に含まれない地域を「公共交通空白地域」としている。